

13:00-

受付開始

13:30
-14:20

特別講演

企業の優位性を生み出す人事の在り方

- 優位性を生み出す「戦略人事」の本質
- 戦略的に人材マネジメントを構築するためには ～事例からの考察～

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授 高橋 俊介 氏

プロフィール 1978年東京大学工学部卒業。日本国有鉄道（現JR）、マッキンゼー・ジャパンを経て、89年にワイアット（現タワーズワトソン）に入社、93年に同社代表取締役社長に就任する。97年に独立し、ピープルファクター・コンサルティングを設立。2000年には慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授に就任、11年より現職。主な著書に『人材マネジメント論』（東洋経済新報社）、『自分らしいキャリアのつくり方』（PHP新書）、『人が育つ会社をつくる』（日本経済新聞出版社）、『ホワイト企業 サービス業化する日本の人材育成戦略』（PHP新書）など多数。

14:20
-14:50

ゲスト講演 I

経営に資する人事のグローバルマインドセット

- 武田薬品工業の人事改革
- グローバル基準の人事視点
- 変わりゆく、これからの時代に求められる人事の在り方

武田薬品工業株式会社 グローバルHR グローバルHRBPコーポレートヘッド 藤間 美樹 氏

プロフィール 1985年藤沢薬品工業（現アステラス製薬）に入社、営業、労働組合、人事、事業企画を経験。人事部では米国駐在を含め主に海外人事を担当。2005年にバイエルメディカルに人事総務部長として入社、2007年に武田薬品工業に入社。海外人事を中心にCMC HRビジネスパートナー部長等を歴任し、現在は本社部門の戦略的人事ビジネスパートナーをグローバルに統括するグローバルHRBPコーポレートヘッドの任務に従事。M&Aは米国と欧州の海外案件を中心に10件以上経験し、米国駐在は3回、計6年となる。武田薬品工業のグローバル化の流れを日米欧の3大拠点で経験し、グローバルに通用する人材像とその育成を探索。



14:50-15:10

コーヒーブレイク

15:10
-15:40

共催講演

世界基準の“人事の役割”と求められる変革 ～グローバル企業事例からの考察～

- グローバル戦略人事を実現する「人事部門」のあるべき姿とは
- 企業の競争優位を生み出す人事システムとは
- グローバルスタンダードの最新事例とは

ワークデイ株式会社 リージョナル・セールス・ディレクター 濱田 真

プロフィール 米SAS Institute（ビジネス・アナリティクス・ソフトウェア大手）の日本法人・シンガポール法人にて15年間在籍。一貫してアナリティクスを通じた効率化およびビジネス変革に向けたソリューションの提案に従事。7年間在籍したシンガポール法人では、セールス・ディレクターとして、人事領域におけるデータ知見の活用提案に注力。顧客の課題解決に貢献。2015年3月より現職。日本市場におけるWorkdayソリューションの営業戦略の立案と実行を主導。

15:40
-16:10

ゲスト講演 II

変革期の人事

- 海外業務の進展における組織変革の必要性
- 人事に求められる取組み
- 三菱東京UFJ銀行の事例

株式会社三菱東京UFJ銀行 国際企画部 グローバル人事室長 堀田 慶一 氏

プロフィール 1989年三菱銀行（現三菱東京UFJ銀行）に入行。入行後、国内および米国にて大企業法人業務を担当し、2005年に人事部に着任。人事の運営、企画を経験した後、採用、研修の責任者として従事。2012年に国際部門の戦略担当副部長、翌年に米国での戦略担当副部長を経て、2015年に現職のグローバル人事（GHR）室長に就任。欧米並の地域人事を統括するGHRヘッドとして、グローバル人事組織の再編、Center of Excellence (CoE) 体制構築等、MUFGグループのグローバル人事高度化を推進。

16:10
-17:00パネル
ディスカッション

競争優位を生み出す人事のあり方 ～真の「人事の役割」とは何か、求められる改革と挑戦～

本ディスカッションではゲスト講演者と共に、聴講者の方々からのご質問にもお答えしながら、変革実現に必要なアクションやこれからの人事が持つべき視点・担うべき役割につき、ディスカッションを展開して参ります。

パネリスト

武田薬品工業株式会社 グローバルHR グローバルHRBPコーポレートヘッド 藤間 美樹 氏

株式会社三菱東京UFJ銀行 国際企画部 グローバル人事室長 堀田 慶一 氏

ワークデイ株式会社 リージョナル・セールス・ディレクター 濱田 真

モデレーター

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授 高橋 俊介 氏